

令和5年2月2日（木）
実施

2023年度大学院法学研究科 特別選考による外国人修士課程入学試験問題

社会科学の基礎学力を試す論文試験（日本語で解答すること。）

受験番号	
------	--

（1） 問題冊子、下書用紙、すべての解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。（氏名は絶対に記入しないこと。）

問題 1 次の文章(川嶋四郎『日本史のなかの裁判 日本人と司法の歩み』二〇二二年、法律文化社、pp. 176-186より抜粋)を読んで、次の問に答えなさい。

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

問1 本文中の次の言葉の読みを書き、その意味を説明しなさい。

- ① 時折
- ② 逆説的
- ③ 戒め
- ④ 無類

問2 著者（川嶋四郎）の考える宮澤賢治の訴訟観を40字以内でまとめなさい。

問3 筆者（川嶋四郎）が傍線部で表現したかったのは、具体的にどのような内容であると考えられるか。120字以内で述べなさい。

問題2 次の文章（稲谷龍彦『統治システムの近未来を考えてみる：GovernanceInnovation and Beyond』2020年、Nextcom44巻15頁から抜粋）を読んで、次の問に答えなさい。

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

文章非公開

問 1 本文中の次の言葉の読みを書き、その意味を説明しなさい。

①緻密 ②恣意 ③陳腐 ④遍在 ⑤嗜好

問 2 著者（稲谷龍彦）の考えに即し、法治主義と法の支配の違いについて、それぞれの背後にある法秩序観の違いに言及しつつ、説明しなさい。（200字以内）

問 3 下線部について、「現在起きつつある統治システムの『質的変化』」とはどのようなものか、なぜそのような変化が生じているのかについて説明しなさい。（200字以内）